

標準案内用図記号ガイドライン 2025

2026年 3月

標準案内用図記号ガイドライン 2025 について

1. 策定の背景、目的

不特定多数の人が出入りする交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等に使用される案内用図記号は、ひと目でその表現内容を理解できることから、文字による情報伝達が困難な場合や発語を必要としない人のコミュニケーションツールとしても優れた情報提供手段です。2002 年日韓ワールドカップ開催を控えた 90 年代後半は国内的にも国際的にも標準化が遅れていた時で、国内的には日本工業標準（現日本産業標準：JIS）化がなされておらず施設ごとにバラバラにデザインされ使用されていました。国際的には国際標準化機構（ISO）によってわずか 57 項目が標準化されているに過ぎませんでした。

しかしながら、社会の変化により利用者のニーズが多様化し、またバリアフリーの観点からもこうした図記号の統一化と一層の充実の必要性が高まり、交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等の国内諸施設に使用される案内用図記号の標準を示すことを目的として、2001 年 3 月に「標準案内用図記号ガイドライン」を策定しました。

このガイドラインに掲載されている標準案内用図記号は、幅広い利用者にとって見やすくわかりやすい表現であること、図形間に整合性があり、スタイル上の統一がとれていること、そして国際的にも評価される審美性を備えた図記号で、国内で“標準的”に用いていただきたいという趣旨で作成しました。

標準案内用図記号の策定は、国内的には JIS Z 8210 の制定につながり、国際的には ISO へ日本からの提案による登録数の増加をもたらしてきました。そして、2013 年 9 月には東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定し、今後益々訪日外国人観光客数の増加が見込まれる状況を踏まえて、2017 年に「標準案内用図記号ガイドライン改訂版」、2020 年に「標準案内用図記号ガイドライン 2020」を策定しました。

さらに、2020 年 1 月から新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、日本国内でも新しい生活様式が始まり、日常生活が一変しました。そこで急遽、感染症対応に必要と思われる図記号を検討し、2021 年に「標準案内用図記号ガイドライン 2021」を策定しました。

そしてこの度は、2025 年 1 月に JIS に案内用図記号をデザインするための統一規格である「案内用図記号のデザイン原則（JIS Z 8211-1, -2, -3）」が制定されたことを受け、「使用上の注意」を見直しました。また、策定当初に図記号の早期の普及に資する意図からガイドラインに設けた推奨度区分は、全国の公共施設等で図記号の導入が進んだ今日、その役割を終えていると考え、廃止することとしました。更に、図記号の造形者についても、JIS Z 8211 が制定されたことを受け、特定の造形者名を削除することとし、2026 年に「標準案内用図記号ガイドライン 2025」の策定に至りました。

標準案内用図記号ガイドライン 2025 について

2. 策定の経緯

本ガイドラインは、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団（以下「エコモ財団」）が設置した「標準案内用図記号ガイドライン 2021 見直しに関する委員会」（以下「委員会」）における検討結果を踏まえて策定されました。

委員会は、[表-1] に示す通り、2025 年 4 月に設置され、次の内容について審議を行いました。

- 1) 「案内用図記号のデザイン原則（JIS Z 8211-1：共通事項、-2：施設などの案内用図記号に用いる基本形状、色及び使い方、-3：安全などの案内用図記号に用いる基本形状、色及び使い方）」の内容を踏まえた「■使用上の注意」への加筆修正
主な修正内容
 - ・「■使用上の注意」を「1. 一般事項」「2. 色について」「3. 矢印との組み合わせ」に分類
 - ・「2. 色について」に明度差及びモノクローム表現の際の注意事項を追記
 - ・「3. 矢印との組み合わせ」を JIS デザイン原則と整合
- 2) 推奨度区分廃止に伴う、標準案内用図記号一覧表、及び図記号を個別に紹介するページの「推奨度 A」「推奨度 B」「推奨度 C」の記述の削除
- 3) 図記号の造形者に関する記述の削除、ただし条例やエコモ財団以外の出典の記載は各図記号の下部に個別に記載

3. 本ガイドラインのご利用にあたって

本ガイドラインは、エコモ財団のホームページに掲載されています。(https://www.ecomo.or.jp/) ただし、このガイドラインに掲載されている図記号を商標又は意匠として登録等を行うと、第三者の権利を侵害する可能性があります。

ご不明な点等ございましたら下記までお問い合わせください。

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
企画調査部バリアフリー推進グループ

E-mail. bari_info@ecomomo.or.jp Tel. 03-5844-6265 Fax. 03-5844-6294

[表-1] 標準案内用図記号ガイドライン 2021 見直しに関する委員会の構成

(2026年2月現在、委員五十音順、敬称略)

■委員会

○委員長

秋山 哲男 中央大学研究開発機構
教授

○委員

荒井 大介 国土交通省観光庁
参事官(外客受入担当)付 課長補佐(総括)

安藤 信哉 公益社団法人全国脊髄損傷者連合会
常務理事・事務局長

泉 直人 公益財団法人日本バス協会
労務・安全部長

大野 誠 東京都都市整備局都市基盤部交通企画課
都市基盤事業調整専門課長

小幡 恭弘 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会
事務局長

工藤 真生 九州大学大学院芸術工学研究院
メディアデザイン部門

倉本 雅代子 全国重症心身障害児(者)を守る会
政策委員

栗原 明宏 一般社団法人日本民営鉄道協会
運輸調整部長

黒崎 亜紀子 東京都産業労働局観光部
事業調整担当課長

佐藤 加奈 社会福祉法人日本身体障害者団体連合会
事務局長

高橋 儀平 東洋大学
名誉教授

中野 泰志 慶應義塾大学経済学部
教授

箸方 稔 東日本旅客鉄道株式会社鉄道事業本部
設備部門建築ユニット マネージャー

橋田 慶司 一般社団法人日本地下鉄協会
業務部長

橋本 直昌 一般社団法人日本旅客船協会
企画部長

日巻 博文 一般社団法人全国空港事業者協会
常務理事

平野 祐子 主婦連合会
副会長 社会部部长

松田 妙子 NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事
NPO法人せたがや子育てネット 代表理事

三澤 一登 一般社団法人日本発達障害ネットワーク
副理事長

三好 由加 社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会
理事

森川 美和 公益財団法人共用品推進機構
総務課兼業務部 部長

山崎 涼子 特定非営利活動法人自立生活センター・小平
障がい者職員

吉田 吉彦 定期航空協会
事務局長

■準備委員会

○主査

赤瀬 達三 元千葉大学大学院 教授
公益社団法人日本サインデザイン協会 参与

○委員

石井 達雄 株式会社石井マーク 代表取締役
ISO/TC145/SC2国内対策委員会 主査

内田 謙一 国土交通省総合政策局共生社会政策課
交通バリアフリー政策室長

小越 菜恵 一般財団法人日本規格協会
産業系規格開発ユニット 消費者系規格チーム

児山 啓一 株式会社アイ・デザイン 代表取締役
ISO/TC145/SC1国内宅委員会 主査

定村 俊満 公益社団法人日本サインデザイン協会
調査研究委員会 委員
株式会社ソーシャルデザインネットワークス
代表取締役

中村 祐二 元学校法人自由学園 特任教授
ISO/TC145国内委員会 委員長
同SC3国内委員会 主査

若林 究 経済産業省イノベーション・環境局国際標準課
課長補佐(生活グループ長)

■事務局

澤田 大輔 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
企画調査部 部長

竹島 恵子 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
企画調査部バリアフリー推進グループ 参事

堀口 仁美 株式会社アイ・デザイン
取締役エグゼクティブデザイナー

標準案内用図記号作成の経緯について

標準案内用図記号は 2001 年 3 月に初版が発行され、その後も標準案内用図記号作成の基本プロセス（05 ページ右下図）に従い、2025 年までに 4 度の改訂が行われてきました。以下はその概要です。

■ 標準案内用図記号ガイドライン：2001 年 3 月 発行

1999 年 4 月、エコモ財団に「一般案内用図記号検討委員会」を設置し、案内用図記号の標準化を進め、2000 年 6 月に 128 項目の原案を作成し、理解度、視認性試験を経て 2001 年 3 月、125 項目の「標準案内用図記号」を決定し、ガイドライン初版を発行しました。その後、日本標準調査会標準部会基本技術専門委員会において標準案内用図記号 125 項目のうち 108 項目と、エスカレーターの上下に関する応用部分 2 項目を含め、110 項目の JIS（日本産業規格）化案が了承され、2002 年 3 月 20 日に「JIS Z 8210: 2002 案内用図記号」が制定されました。

■ 標準案内用図記号ガイドライン改訂版：2017 年 7 月 発行

2020 年開催予定であった東京オリンピック、パラリンピック競技大会に向けて、2015 年 4 月より検討を開始し、2 年間で標準案内用図記号 18 項目を追加し、2017 年 7 月にガイドライン改訂版を発行しました。その中の先行していた 1 項目（コミュニケーション）は JIS Z 8210: 2002 の追補 4 として 2014 年に、その他の 15 項目が JIS Z 8210: 2017 に追加されました。

なお、2017 年の JIS 案内用図記号改正にあたり、標準案内用図記号と JIS 案内用図記号で異なる図記号がでてきました。詳細は、（一財）日本規格協会のホームページでご確認ください。



<標準案内用図記号と JIS 案内用図記号とで異なる図記号>

■ 標準案内用図記号ガイドライン 2020：2020 年 11 月 発行

オリンピック・パラリンピック競技大会以降も視野に入れ、インクルーシブな社会構築の一助として標準となるものを示すことを目的として、2018 年 6 月に委員会を設置し、2019 年 3 月に 8 項目（簡易型オストメイト用設備の表示例を含む）を策定し、（一社）日本レストルーム工業会で策定されたトイレ関連の 3 項目とアクセシビリティに関する図記号と合わせて 20 項目追加し、ガイドラインを 2020 年 11 月に発行しました。このうち優先席、優先設備に関する 10 項目は（一財）日本規格協会により 2014 年に JIS 化されたもので、他の 7 項目（簡易型オストメイト用設備の表示例を除く）は 2020 年に JIS Z 8210: 2017 の追補 3 として登録されました。

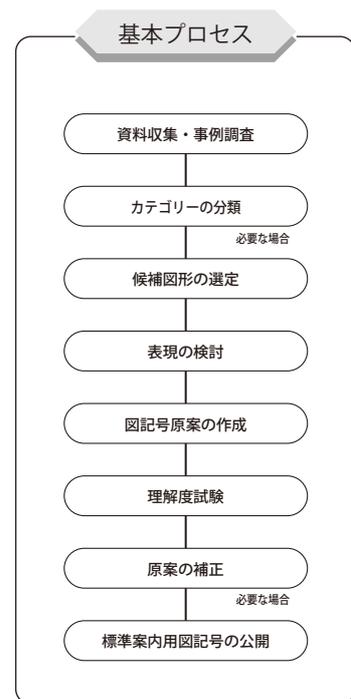
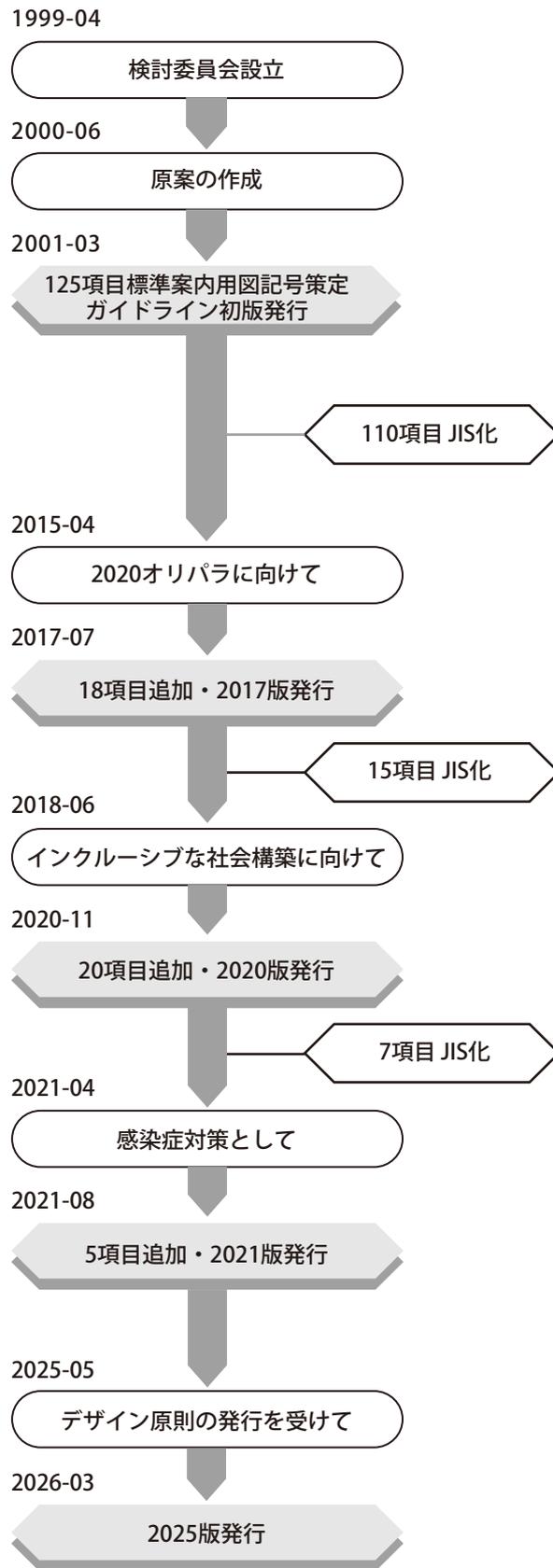
■ 標準案内用図記号ガイドライン 2021：2021 年 8 月 発行

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、2021 年 4 月より感染症対策に必要と思われる図記号を検討、作成し、2021 年 8 月に 5 項目を追加しました。

■ 標準案内用図記号ガイドライン 2025：2026 年 3 月 発行

推奨度区分の廃止及び 2025 年 1 月に作成された「案内用図記号のデザイン原則（JIS Z 8211-1, 2, 3）」の内容を踏まえ、「■ 使用上の注意」への加筆修正を行いました。

標準案内用図記号作成の経緯 概要



5 安全 Safety

6項目 p22



6 禁止 Prohibition

23項目 p23~24



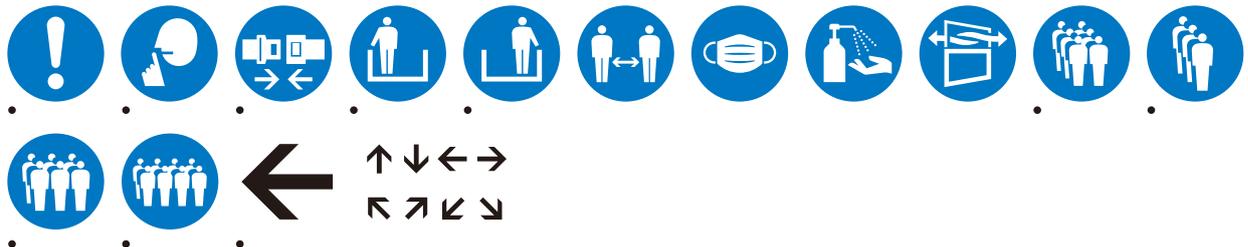
7 注意 Warning

9項目 p25



8 指示 Mandatory

15項目 (矢印応用例は8種を1項目) p26~27



9 アクセシビリティ Accessibility

17項目 p28~29



■ 使用上の注意

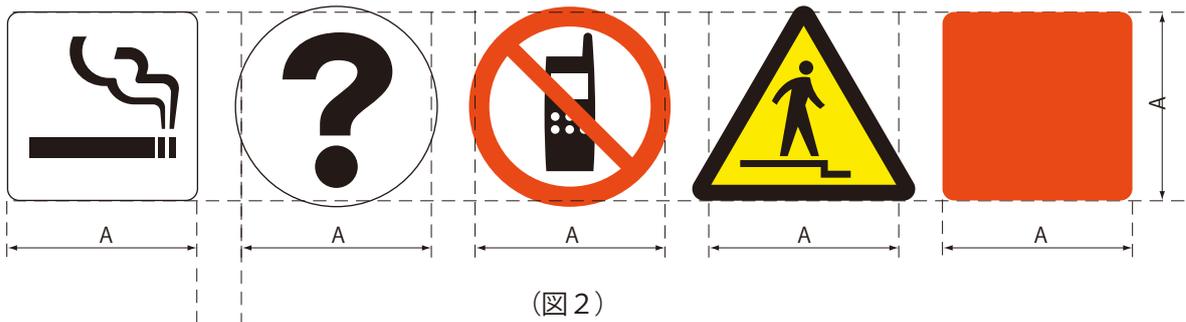
1. 一般事項

- 1) 本ガイドラインの図記号は、視距離 1 m で表示する場合の最小寸法を 35mm 角、手にとって見ることのできる地図類に用いる場合の最小寸法を 8mm 角とする条件で設計されています。これより小さくして使用することは避けてください。(図 1)



(図 1)

- 2) 本ガイドラインの図記号は、正方形・円形・三角形が同じ大きさに見えるように、寸法を調整してあります。これら三種の外形を持つ図記号を混用して拡大・縮小する際は、この点にご留意ください。(図 2)



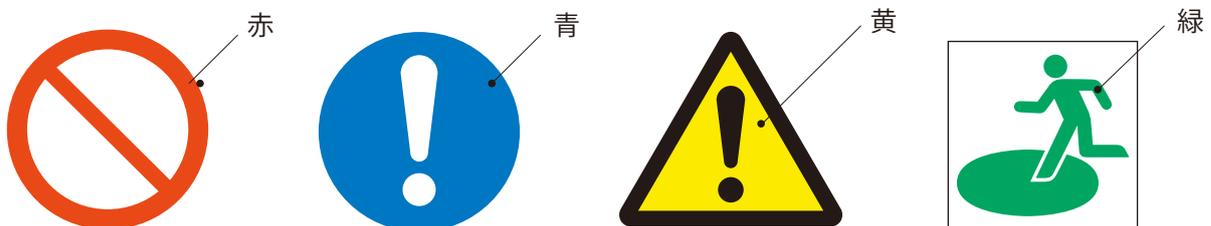
(図 2)

2. 色について

1) 安全色について

赤、青、黄、緑が使用されている図記号の色彩は [JIS Z 9103 安全色及び安全標識] に拠っています。使用の際は、次の値を参照してください。(図 3)

※このガイドラインは、レギュラーインクを使用しているため近似色です。



	色名	マンセル値		色名	マンセル値
安全色	赤	8.75R 5/12	対比色	白	N9.3
	青	2.5PB 4.5/10		黒	N1.5
	黄	7.5Y 8/12			
	緑	5G 5.5/10			

(図 3)

2) その他の色彩について

- a) 施設などの案内用図記号は、通常、白黒で表現しますが、場合によっては安全色を除いた他の色彩又は灰色を用いることができます。(図4)



(図4)

- b) “お手洗” 図記号は、男性、女性の区別をより明確にするために、安全色を含めた色分けをすることができます。(図5)



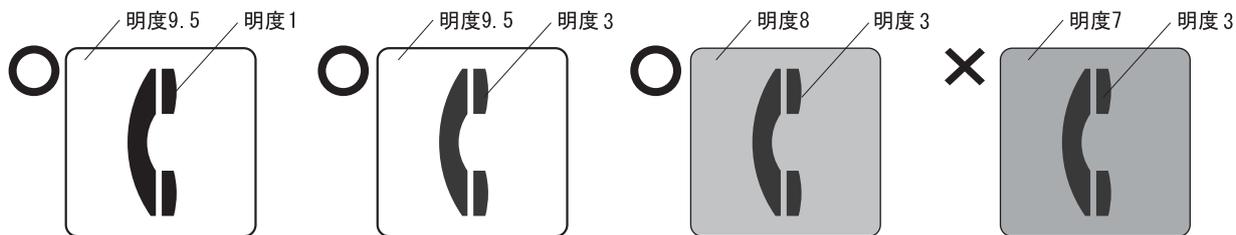
(図5)

- c) “障害のある人が使える設備”、“スロープ” 図記号は、青地に白抜き又は黒地に白抜きを用いることができます。(図6)



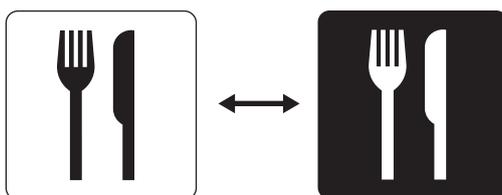
(図6)

d) 有彩色又は灰色を用いる場合は、図と地色のコントラストが明確になるように、0段階～10段階のマンセル表色系で、明度差を5以上にします。(図7)



(図7)

e) 白地に黒の図記号を、黒地に白の図記号として、反転することができます。(図8)



(図8)

3) モノクローム表現

安全に関する図記号を、印刷の都合等でモノクロームで表現する場合、濃淡の程度（明度差）を保つようにします。(図9) また、基本形状と図記号要素の重なり部分に隙間を確保するよう配慮します。(図10)



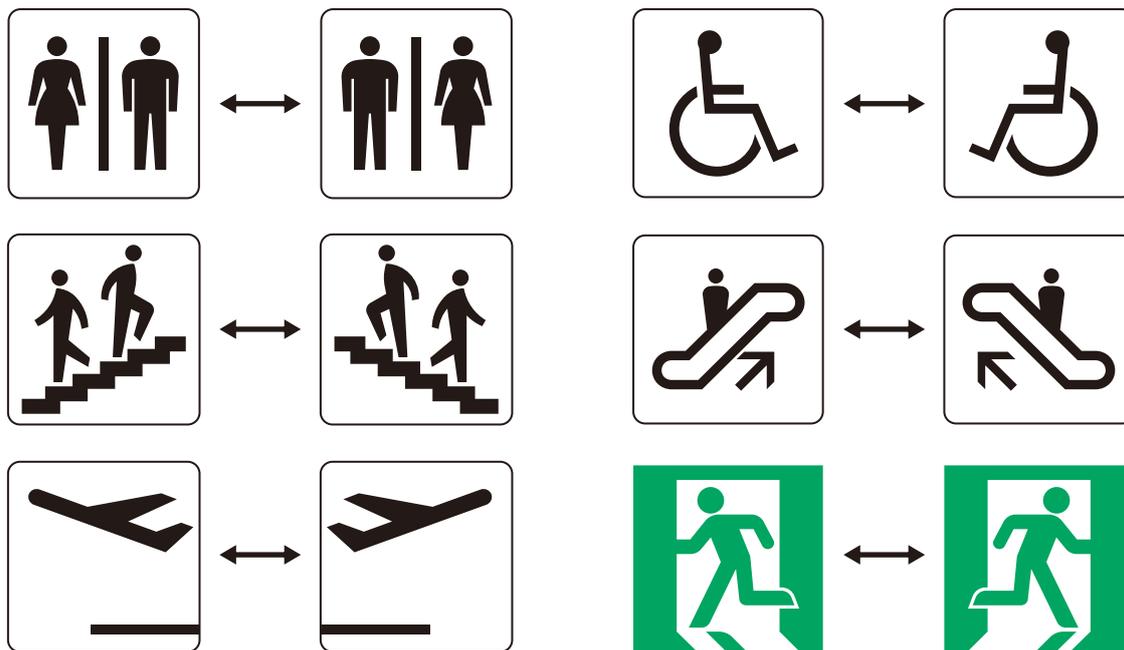
(図9)



(図10)

4) 左右反転について

図記号によっては誘導方向及び設置環境に応じて、左右を反転することができます。(図 11)



(図11)

3. 矢印との組合せ

対象物に向かう動きを示すために、施設用案内用図記号と指示図記号の矢印とを組み合わせで使用します。(図 12) 安全に関する図記号は、例えば下方に非常ボタンがあることを示すために、対象を示す案内用図記号と方向指示の矢印を組み合わせで使用することがあります。(図 13) 指示図記号の矢印の使用方法については(図 14)を参照してください。



(図12)



(図13)



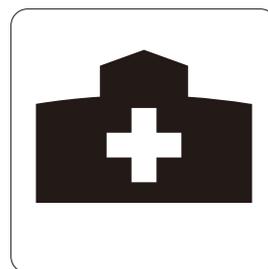
(図14)



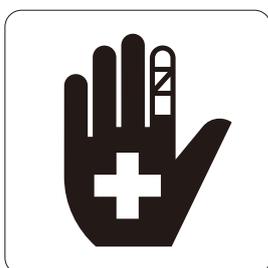
案内
Information
・ JIS Z 8210 : 2002



案内所
Question & answer
・ JIS Z 8210 : 2002



病院
Hospital
・ JIS Z 8210 : 2002



救護所
First aid
・ JIS Z 8210 : 2002 (2019年に削除)



警察
Police
・ JIS Z 8210 : 2002



お手洗
Toilets
・ JIS Z 8210 : 2002



男女共用お手洗
All gender toilet
※文字による補助表示を付ける場合は、「男女共用 All gender」またはそのどちらかとする。
色彩はモノトーンが望ましい。
・ JIS Z 8210 : 2020



男性
Men
・ JIS Z 8210 : 2002



女性
Women
・ JIS Z 8210 : 2002



飲料水
Drinking water
・ JIS Z 8210 : 2002



喫煙所
Smoking area
・ JIS Z 8210 : 2002

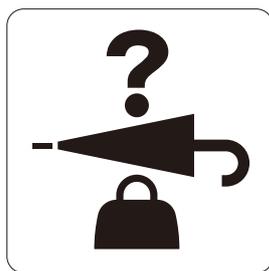


※火災予防条例で上記の図記号の使用が規定されている場所には、上記の図記号を使用する必要がある。
※出典：火災予防条例（例）

1 公共・一般施設 Public Facilities



チェックイン / 受付
Check-in / Reception
• JIS Z 8210 : 2002



忘れ物取扱所
Lost and found
• JIS Z 8210 : 2002



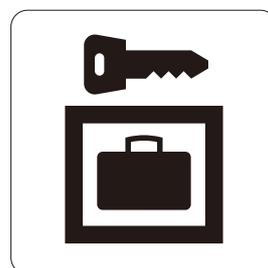
ホテル / 宿泊施設
Hotel / Accommodation
• JIS Z 8210 : 2002



きっぷうりば / 精算所
Tickets / Fare adjustment
• JIS Z 8210 : 2002



手荷物一時預かり所
Baggage storage
• JIS Z 8210 : 2002



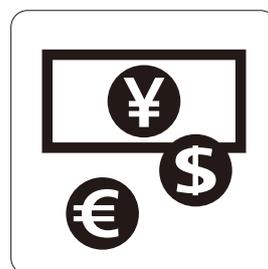
コインロッカー
Coin lockers
• JIS Z 8210 : 2002



休憩所 / 待合室
Lounge / Waiting room
• JIS Z 8210 : 2002



ミーティングポイント
Meeting point
• JIS Z 8210 : 2002



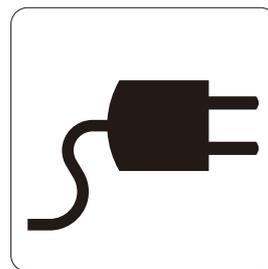
銀行・両替
Bank, money exchange
※通貨記号差し替え可
• JIS Z 8210 : 2002



キャッシュサービス
Cash service
※通貨記号差し替え可
• JIS Z 8210 : 2002

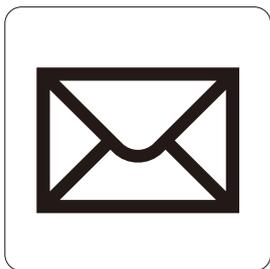


海外発行カード対応ATM
ATM for overseas cards
※通貨記号差し替え可
• JIS Z 8210 : 2017

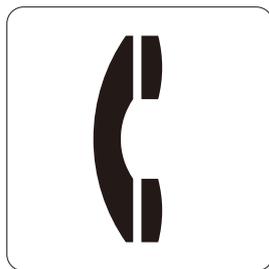


充電コーナー
Charge point
• JIS Z 8210 : 2017

1 公共・一般施設 Public Facilities



郵便
Post
• JIS Z 8210 : 2002



電話
Telephone
• JIS Z 8210 : 2002



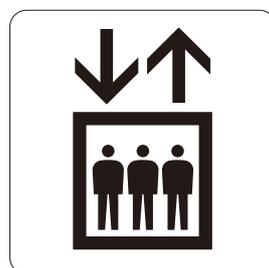
無線LAN
Wireless LAN
• JIS Z 8210 : 2017



ファックス
Fax
• JIS Z 8210 : 2002



カート
Cart
• JIS Z 8210 : 2002



エレベーター
Elevator
• JIS Z 8210 : 2002



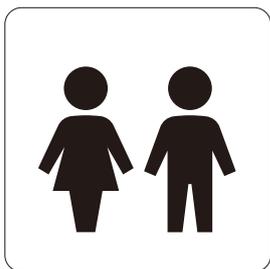
エスカレーター
Escalator
• JIS Z 8210 : 2002



階段
Stairs
• JIS Z 8210 : 2002



乳幼児用設備
Nursery
• JIS Z 8210 : 2002 (2019年に削除)



こどもお手洗
Children's toilet
• JIS Z 8210 : 2020



おむつ交換台
Diaper changing table
• JIS Z 8210 : 2020



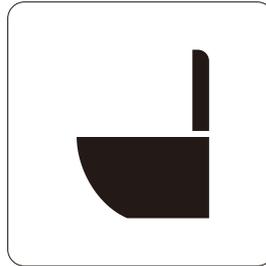
ベビーチェア
Baby chair
• JIS Z 8210 : 2020

1 公共・一般施設 Public Facilities



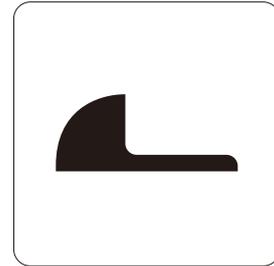
着替え台
Changing board

・ JIS Z 8210 : 2020



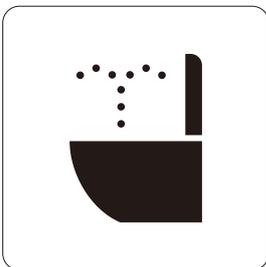
洋風便器
Sitting style toilet

※出典：（一社）日本レストルーム工業会
・ JIS Z 8210 : 2019



和風便器
Squatting style toilet

※出典：（一社）日本レストルーム工業会
・ JIS Z 8210 : 2019



温水洗浄便座
Spray seat

※出典：（一社）日本レストルーム工業会
・ JIS Z 8210 : 2019



クローク
Cloakroom

・ JIS Z 8210 : 2002



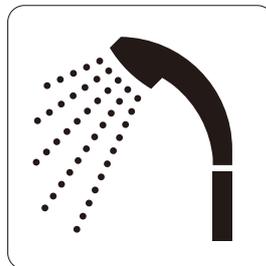
更衣室
Dressing room

・ JIS Z 8210 : 2002



更衣室（女性）
Dressing room (women)

・ JIS Z 8210 : 2002



シャワー
Shower

・ JIS Z 8210 : 2002



浴室
Bath

・ JIS Z 8210 : 2002



水飲み場
Water fountain

・ JIS Z 8210 : 2002



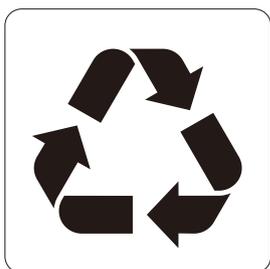
礼拝室
Prayer room



くず入れ
Trash box

・ JIS Z 8210 : 2002

1 公共・一般施設 Public Facilities



リサイクル品回収施設
Collection facility for
the recycling products

• JIS Z 8210 : 2002



自動販売機
Vending machine

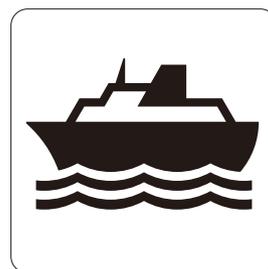
※通貨記号差し替え可
• JIS Z 8210 : 2017



航空機 / 空港
Aircraft / Airport
• JIS Z 8210 : 2002



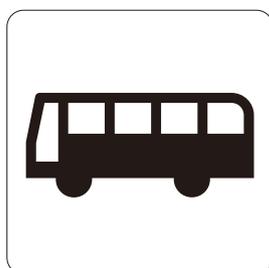
鉄道 / 鉄道駅
Railway / Railway station
• JIS Z 8210 : 2002



船舶 / フェリー / 港
Ship / Ferry / Port
• JIS Z 8210 : 2002



ヘリコプター / ヘリポート
Helicopter / Heliport
• JIS Z 8210 : 2002



バス / バスのりば
Bus / Bus stop
• JIS Z 8210 : 2002



タクシー / タクシーのりば
Taxi / Taxi stop
• JIS Z 8210 : 2002



レンタカー
Rent a car
• JIS Z 8210 : 2002



一般車
Car
• JIS Z 8210 : 2017



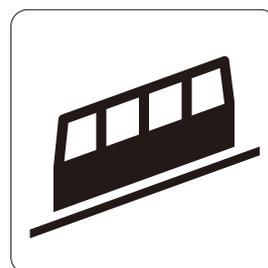
自転車
Bicycle
• JIS Z 8210 : 2002



レンタサイクル / シェアサイクル
Rental bicycle / Bicycle sharing
• JIS Z 8210 : 2017



ロープウェイ
Cable car
• JIS Z 8210 : 2002



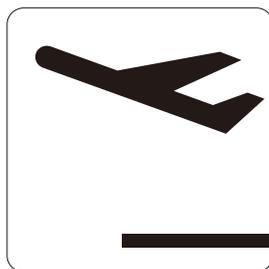
ケーブル鉄道
Cable railway
• JIS Z 8210 : 2002

2 交通施設 Transport Facilities



駐車場
Parking

・ JIS Z 8210 : 2002
(2019年に削除)



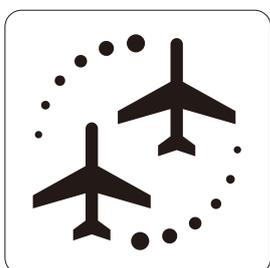
出発
Departures

・ JIS Z 8210 : 2002



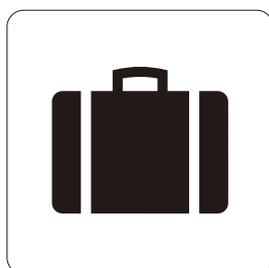
到着
Arrivals

・ JIS Z 8210 : 2002



乗り継ぎ
Connecting flights

・ JIS Z 8210 : 2002 (2019年に削除)



手荷物受取所
Baggage claim

・ JIS Z 8210 : 2002 (2019年に削除)



税関 / 荷物検査
Customs / Baggage check

・ JIS Z 8210 : 2002



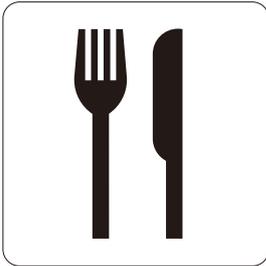
出国手続 / 入国手続 /
検疫 / 書類審査
Immigration /
Quarantine / Inspection

・ JIS Z 8210 : 2002



駅事務室 / 駅係員
Station office / Station staff

・ JIS Z 8210 : 2017



レストラン
Restaurant
・ JIS Z 8210 : 2002



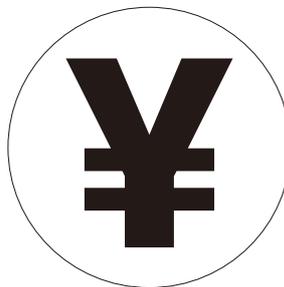
喫茶・軽食
Coffee shop
・ JIS Z 8210 : 2002



バー
Bar
・ JIS Z 8210 : 2002



ガソリンスタンド
Gasoline station
・ JIS Z 8210 : 2002



会計
Cashier
※通貨記号差し替え可
・ JIS Z 8210 : 2002



店舗 / 売店
Shop
※実態に合わせて図材の変更可



新聞・雑誌
Newspapers, magazines
※実態に合わせて図材の変更可



薬局
Pharmacy
※実態に合わせて図材の変更可



理容 / 美容
Barber / Beauty salon
※実態に合わせて図材の変更可



手荷物託配
Baggage delivery service
※実態に合わせて図材の変更可



コンビニエンスストア
Convenience store
・ JIS Z 8210 : 2017



展望地 / 景勝地
View point
・ JIS Z 8210 : 2002



陸上競技場
Athletic stadium
・ JIS Z 8210 : 2002



サッカー競技場
Football stadium
・ JIS Z 8210 : 2002



野球場
Baseball stadium
・ JIS Z 8210 : 2002



テニスコート
Tennis court
・ JIS Z 8210 : 2002



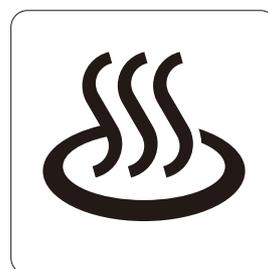
海水浴場 / プール
Swimming place
・ JIS Z 8210 : 2002



スキー場
Ski ground
・ JIS Z 8210 : 2002



キャンプ場
Camp site
・ JIS Z 8210 : 2002



温泉
Hot spring
・ JIS Z 8210 : 2002



イヤホンガイド
Audio guide
・ JIS Z 8210 : 2017



公園
Park
※実態に合わせて図材の変更可



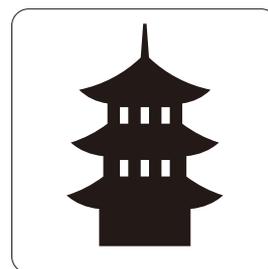
博物館 / 美術館
Museum
※実態に合わせて図材の変更可



歴史的建造物
Historical monument
※実態に合わせて図材の変更可



応用例 1
variant 1
※実態に合わせて図材の変更可



応用例 2
variant 2
※実態に合わせて図材の変更可



スポーツ活動
Sporting activities
※出典：ISO 7001：2017



腰掛け式リフト
Chairlift
※出典：ISO 7001：2017



消火器
Fire extinguisher
・ JIS Z 8210 : 2002



非常電話
Emergency telephone
・ JIS Z 8210 : 2002



非常ボタン
Emergency call button
・ JIS Z 8210 : 2002



列車の非常停止ボタン
Emergency train stop button
・ JIS Z 8210 : 2017



非常口
Emergency exit
※出典：消防法に基づく告知
(平成11年3月17日消防庁告示第2号)



広域避難場所
Safety evacuation area
※出典：防災情報機構NPO法人
・ JIS Z 8210 : 2002



一般禁止
General prohibition
・ JIS Z 8210 : 2002



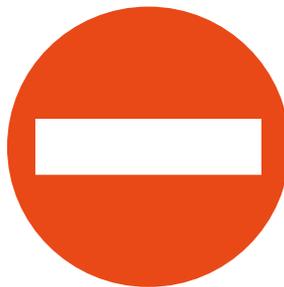
禁煙
No smoking
・ JIS Z 8210 : 2002



※火災予防条例で上記の図記号の使用
が規定されている場所には、上記の
図記号を使用する必要がある。
※出典：火災予防条例（例）



火気厳禁
No open flame
※出典：火災予防条例（例）
・ JIS Z 8210 : 2002



進入禁止
No entry
・ JIS Z 8210 : 2002



駐車禁止
No parking
・ JIS Z 8210 : 2002



自転車乗り入れ禁止
No bicycles
・ JIS Z 8210 : 2002



立入禁止
No admittance
・ JIS Z 8210 : 2002



走るな / かけ込み禁止
Do not rush
・ JIS Z 8210 : 2002



ホームドア：たてかけない
Do not lean objects on the platform door
※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210 : 2017



ホームドア：乗り出さない
Do not lean over the platform door
・ JIS Z 8210 : 2017



さわるな
Do not touch
・ JIS Z 8210 : 2002

6 禁止 Prohibition



捨てるな
Do not throw rubbish
・ JIS Z 8210 : 2002



飲めない
Not drinking water
・ JIS Z 8210 : 2002



携帯電話使用禁止
Do not use mobile phones
・ JIS Z 8210 : 2002



電子機器使用禁止
Do not use electronic devices
※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210 : 2002



撮影禁止
Do not take photographs
・ JIS Z 8210 : 2002



フラッシュ撮影禁止
Do not take flash photographs
・ JIS Z 8210 : 2002



着席禁止
Do not sit here



ベビーカー使用禁止
Do not use prams / strollers
※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210 : 2002



遊泳禁止
No swimming
・ JIS Z 8210 : 2002



キャンプ禁止
No camping
・ JIS Z 8210 : 2002



飲食禁止
Do not eat or drink here
※実態に合わせて図材の変更可



ペット持ち込み禁止
No uncaged animals
※実態に合わせて図材の変更可



一般注意
General caution
・ JIS Z 8210 : 2002



障害物注意
Caution, obstacles
※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210 : 2002



上り段差注意
Caution, uneven access /
up
・ JIS Z 8210 : 2002



下り段差注意
Caution, uneven access /
down
・ JIS Z 8210 : 2002



滑面注意
Caution, slippery surface
・ JIS Z 8210 : 2002



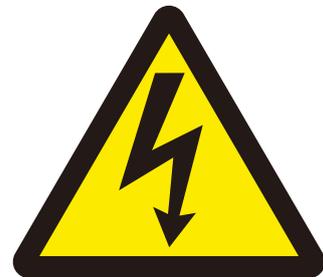
転落注意
Caution, drop
※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210 : 2002



天井に注意
Caution, overhead
・ JIS Z 8210 : 2002



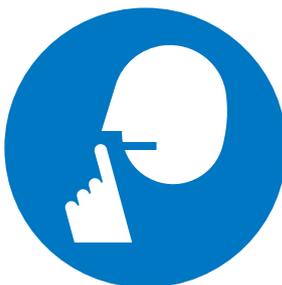
ホームドア：手を挟まないよう注意
Caution, closing doors
・ JIS Z 8210 : 2017



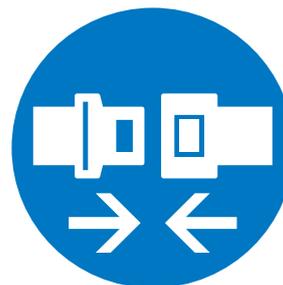
感電注意
Caution, electricity
※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210 : 2002



一般指示
General mandatory
・ JIS Z 8210 : 2002



静かに
Quiet please
・ JIS Z 8210 : 2002



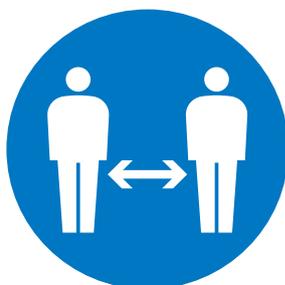
シートベルトを締める
Fasten seat belt
・ JIS Z 8210 : 2017



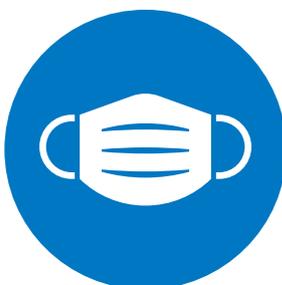
左側にお立ちください
Please stand on the left
※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210 : 2002



応用例 (右側にお立ちください)
variant (Please stand on the right)
※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210 : 2002



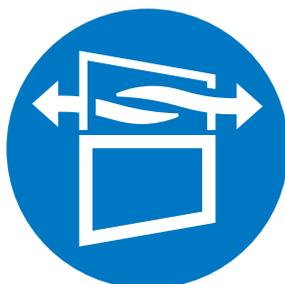
距離を保ってください
Keep your physical distance



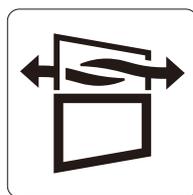
マスクを着用してください
Wear a facial mask



手を消毒してください
Disinfect your hands



換気してください
Please ventilate



※換気している状況を示す場合
「換気しています Optimum air ventilation」



二列並び
Line up in twos

※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210: 2002



応用例 1 (一列並び)
variant 1 (Line up single file)

※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210: 2002



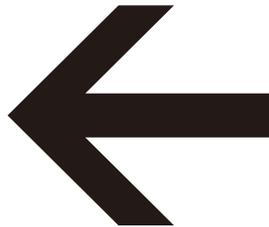
応用例 2 (三列並び)
variant 2 (Line up in threes)

※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210: 2002



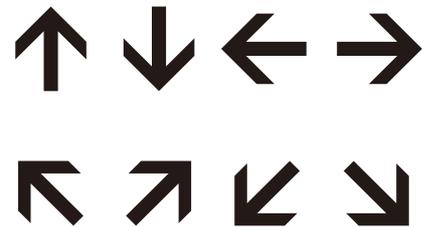
応用例 3 (四列並び)
variant 3 (Line up in fours)

※文字による補助表示が必要
・ JIS Z 8210: 2002



矢印
Directional arrow

※図記号の標準形
・ JIS Z 8210: 2002



応用例
variants



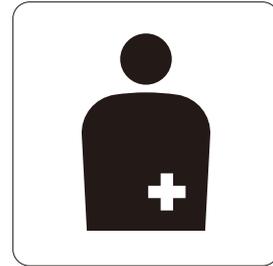
障害のある人が使える設備
Accessible facility

※出典：国際シンボルマーク
・ JIS Z 8210 : 2002



スロープ
Slope

・ JIS Z 8210 : 2002



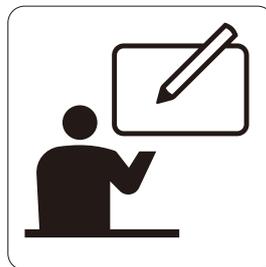
オストメイト用設備 /
オストメイト
Facilities for Ostomy /
Ostomate

・ JIS Z 8210 : 2017



コミュニケーション
Communication in the
specified language

※言語(ENGLISH)は、他の言語及び国旗に
差し替え可
・ JIS Z 8210 : 2014



コミュニケーション：筆談対応
Communication : Writing



介助用ベッド
Care bed

・ JIS Z 8210 : 2020



カームダウン・クールダウン
Calm down, cool down

※文字による補助表示をつける場合は
「カームダウン・クールダウン」とする
※「この部屋は気持ちを静めるための部屋です」など、
運用に適した利用説明の表示をつけることが望ましい。
・ JIS Z 8210 : 2020



高齢者優先設備
Priority facilities for
elderly people

・ JIS Z 8210 : 2014



障害のある人・けが人優先設備
Priority facilities for
injured people

・ JIS Z 8210 : 2014



内部障害のある人優先設備
Priority facilities for people with internal
disabilities, heart pacer, etc.

・ JIS Z 8210 : 2014



乳幼児連れ優先設備
Priority facilities for people accompanied
with small children

・ JIS Z 8210 : 2014



妊産婦優先設備
Priority facilities for
expecting mothers

・ JIS Z 8210 : 2014

9 アクセシビリティ Accessibility



高齢者優先席
Priority seats for
elderly people
• JIS Z 8210 : 2014



障害のある人・
けが人優先席
Priority seats for
injured people
• JIS Z 8210 : 2014



内部障害のある人優先席
Priority seats for
people with internal
disabilities, heart pacer, etc.
• JIS Z 8210 : 2014



乳幼児連れ優先席
Priority seats for
people accompanied
with small children
• JIS Z 8210 : 2014



妊産婦優先席
Priority seats for
expecting mothers
• JIS Z 8210 : 2014